

OSAKA スマホサミット

2016

12/11
(日曜日)

小学校3・4年生のための
「スマホ・SNS 安全教室」
(大阪府モデル事業) の報告



府内小中高校生
約4万人に聞いた
OSAKA スマホアンケート
結果発表!!

今年もすごい!!

サミットメンバーが考えた「スマホの適切な使い方」
を発表します♪

- ショートムービー
- 長時間利用を防止するアプリ
- 低学年向け紙しばい
- SNS 用スタンプ

OSAKAスマホ宣言 2016

とき 平成28年12月11日(日) 13時~16時
ところ 大阪市立阿倍野区民センター 地下1階 小ホール

【主催】大阪の子どもを守るネット対策事業(平成28年度文部科学省委託事業) 実行委員会

構成員:(座長)兵庫県立大学 准教授 竹内和雄

大阪府、大阪府教育庁、大阪府警察、総務省近畿総合通信局、大阪市教育委員会、堺市教育委員会

大阪府PTA協議会、大阪市PTA協議会、堺市PTA協議会、大阪府立高等学校PTA協議会

大阪市立高等学校PTA協議会、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社

デジタルアーツ株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、グリー株式会社、大阪府消費生活センター

青少年育成大阪府民会議

事務局:大阪府 青少年・地域安全室 青少年課 TEL06-694環環環環環環

プログラム

- 13:00 開会
・主催者あいさつ
・来賓ごあいさつ
- 13:05 大阪府の取組報告
【全国初】小学校3・4年生のためのスマホ・SNS 安全教室
- 13:15 第一部
◆スマホサミットまでの道のり 動画
◆約4万人の府内小中高校生に聞いた
「OSAKAスマホアンケート2016」集計結果発表!!
◆スマホサミットメンバーからのメッセージ
アンケート結果を踏まえ、適切なスマホ利用について独自に取り組んだ
成果を発表します。
○ショートムービー4編 ○長時間利用を防止するアプリ
○低学年向け紙しばい ○SNS用スタンプ
- 14:20 第二部
◆「適切なネット利用対策実践事例コンクール」発表会
府内各地域の小中高生が適切なスマホ利用について、独自に取り組んだ成
果を発表します。
- 15:10 第三部 スマホ利用を考えるトークセッション
パネラー：府内小中高校生（スマホサミット2016メンバー）
大阪府PTA協議会、大阪府立高等学校PTA協議会
大阪市PTA協議会、大阪市立高等学校PTA協議会
堺市PTA協議会
コーディネーター：兵庫県立大学 准教授 竹内 和雄
- 15:45 「適切なネット利用対策実践事例コンクール」表彰式
- 15:55 OSAKAスマホ宣言2016
～「私たちが考えるスマホの適切な使い方」～
- 16:00 激励のことば
閉会

コーディネータープロフィール



竹内 和雄

兵庫県立大学
環境人間学部 准教授

【経歴】

公立中学校で 20 年間勤務し、生徒指導主事等を担当。寝屋川市教委指導主事を経て 2012 年より現職。生徒指導を専門とし、いじめ、不登校、ネット問題、生徒会活動等を研究している。文部科学省、総務省等で、子どもとネット問題についての委員を歴任。NHK「視点・論点」「クローズアップ現代」等にも出演。ウィーン大学客員研究員

<著書>

- ・スマホ時代のリスクとスキル（北大路書房）
- ・スマホ時代に対応する生徒指導・教育相談（ほんの森出版）

【6・9・11月のワークショップ&OSAKA スマホサミット】

ファシリテーター：兵庫県立大学ソーシャルメディア研究会の大学生
学生サポーター：大阪教育大学及び関西外国語大学の大学生

【OSAKA スマホサミット 2016 メンバー】 府内 14 校

- 羽衣学園高校
- 大阪市立南高校
- 大阪府立野崎高校
- 摂津市立第三中学校
- 大阪狭山市立南中学校
- 高石市立高石中学校
- 大阪市立井高野中学校
- 大阪市立堀江中学校
- 大阪市立九条南小学校
- 寝屋川市立第八中学校
- 堺市立大泉中学校
- 交野市立第一中学校
- 豊中市立第十二中学校
- 寝屋川市立第六中学校【小学校 1、中学校 10、高校 3】

メモ欄

全国初!

大阪府モデル事業の報告

小学校3・4年生のためのスマホ・SNS 安全教室

青少年のネットトラブル増加の背景には、スマホ所持の低年齢化やインターネットの危険性に関する児童・保護者の知識不足に加え、親子が共に学ぶ機会や教材の不足などが考えられます。

そこで、大阪府では今年度、モデルケースとして小学校3・4年生を対象に大学生講師による「ネット・SNS 安全教室」を交野市内の小学校で実施しました。また併せて、「保護者に対する学習講座」も実施しましたので、その内容を報告させていただきます。

貴校における取組のご参考になれば幸いです。



小学生ネット・SNS 安全教室の教材



授業の様子「ネットをしている人～」



安全教室受講後の「振り返り」授業



「画像をアップしたことがある人～」



保護者に対する学習講座の教材



保護者講座ではゲーム端末を体験!

この「ネット・SNS 安全教室」で使用した教材と指導のポイント等をパッケージにして、併せて本日のスマホサミットで発表した動画等を収録した「DVD 付き事例・教材集」を作成し、今年度中に府内全ての小中学校等に配付します。

是非、あなたの学校や地域においてご活用ください!!

＜昨年度の DVD 付き事例・教材集＞



＜DVD収録内容＞

- ★第1章: OSAKAスマホサミット2015記録映像・啓発動画・アンケート結果を活用した指導案
- ★第2章: スマホ・SNSのトラブルから子どもを守る指導者研修(研修資料&指導の手引)
- ★第3章: アプリで情報モラルの授業が行える学習指導ガイド&事例に学ぶ情報モラル
- ★第4章: 小学生向け教材、指導用資料、ワークシート
- ★第5章: スマホにひそむ危険疑似体験アプリ(具体的なネットトラブル事例)
- ★第6章: 府教委作成資料、その他(無料出前講座、学習教材等のリンク集)

スマホサミットまでの道のり

第1回 6月12日(日) 大阪の小中高校生がスマートフォン利用について議論

今年は、初めて小学生も参加してくれました！

約60名の小中高校生が9つの班に分かれ、スマートフォンの二つの側面(いい面と悪い面)について、意見を出しあい、班ごとに発表しました。

議論を通して、参加者それぞれの取り組みたい課題が浮き彫りになってきたようで、まずは、同年代のスマートフォンの利用実態を把握するアンケート調査をすることになりました。



まずは、緊張をほぐすためアイスブレイク



スマホのいい所・悪い所を付箋に書きます。



カテゴリ別に貼っていきます。



コメントや題名を書いています。



完成！班ごとにプレゼン。少し緊張



それぞれユニークに発表できました。

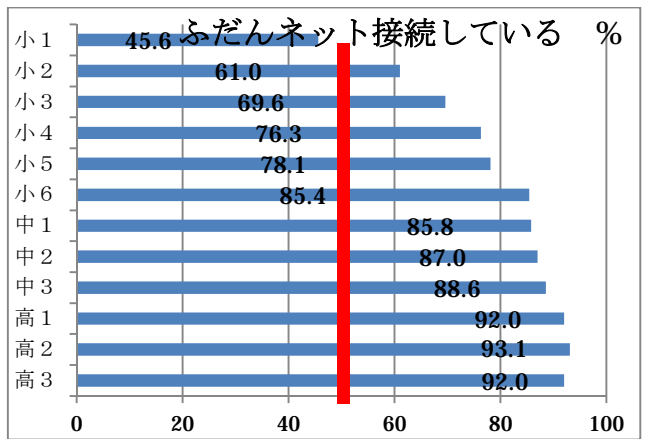
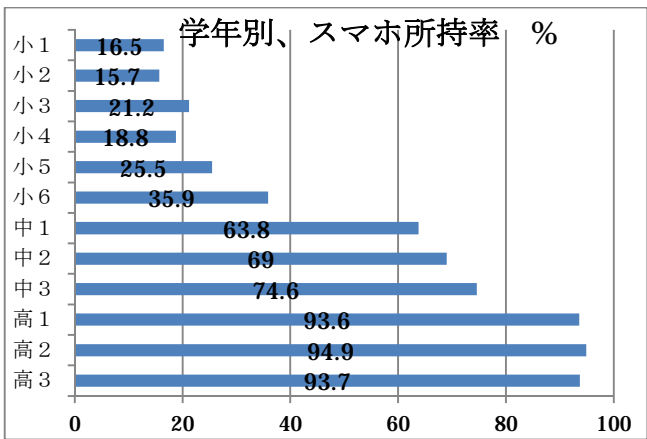


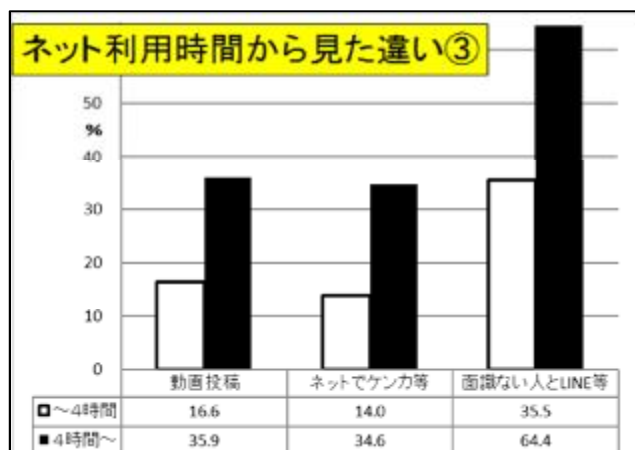
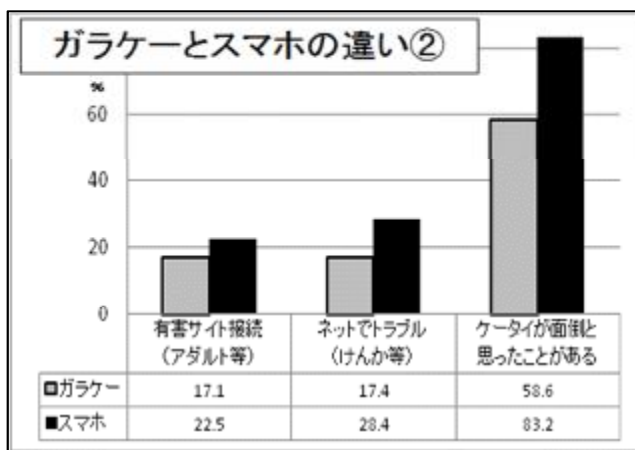
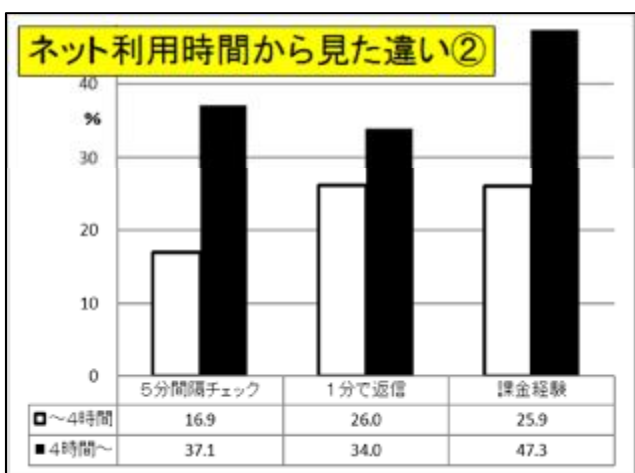
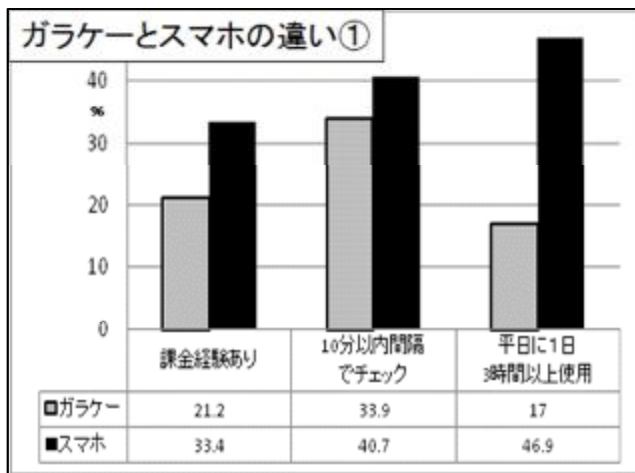
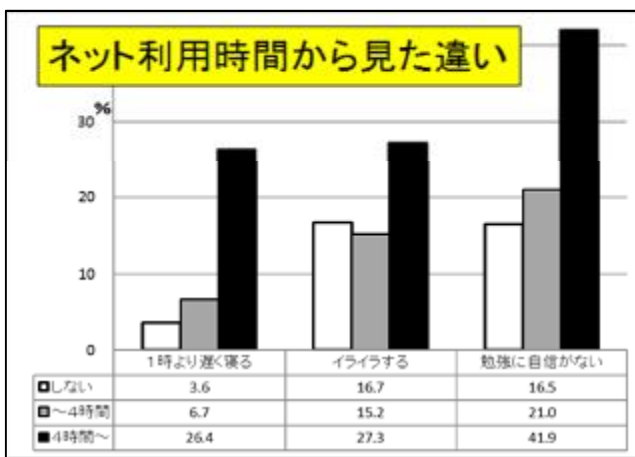
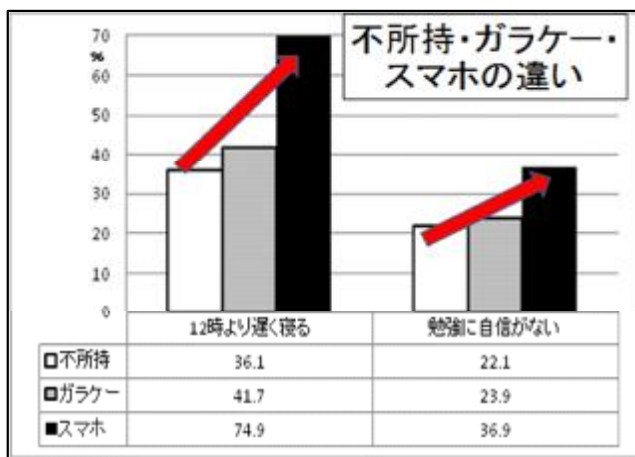
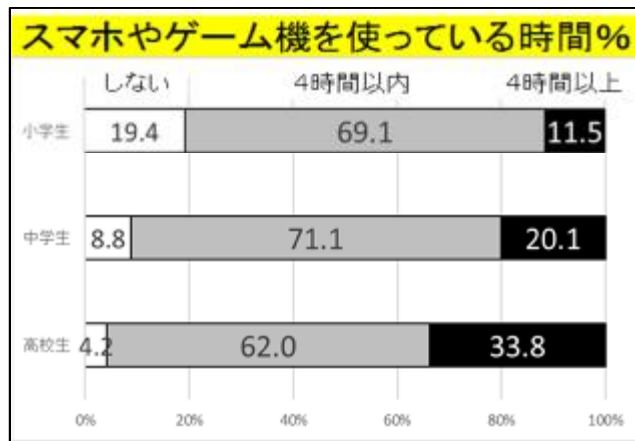
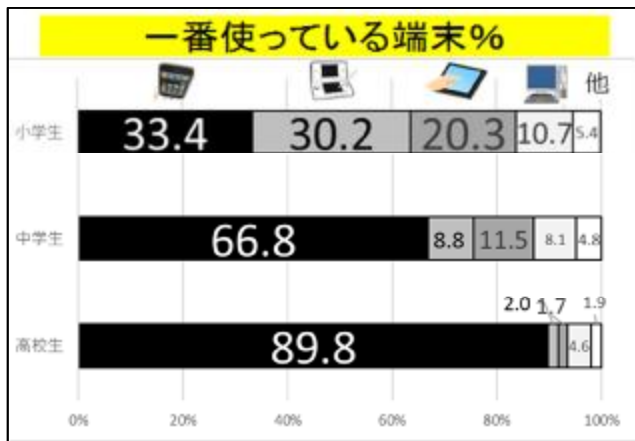
小中高校生が考えた「OSAKA スマホアンケート 2016」への協力について、大阪の子どもを守るネット対策事業実行委員会が呼びかけ、約4万人から回収することができました。

調査概要

- 調査人数 : 39,191人(大阪府内の小学1年生から高校3年生)
(小学生:17,636人、中学生14,019人、高校生7,536人)
- 調査時期 : 平成28年7月
- 集計 : 株式会社ディー・エヌ・エー
- 分析 : 竹内研究室(兵庫県立大学)

アンケート結果(抜粋)





本日、小中高校生がアンケートの分析結果について、一生懸命、議論してまとめたコメントと一緒に発表します。 乞うご期待!!

第2回 9月11日(日) 小中高校生がスマホアンケート結果を踏まえて議論

小中高生が9つのグループに分かれて、スマホアンケートの分析結果から見えるスマホ利用の問題点について議論しました。一方的に大人にルールを押し付けられるのは嫌だけど、自分達でもルールは必要と思っている。自分達と同じ過ちをしないように小学生にもっとインターネット利用の「悪い面」について教えることが大切だという中高生。

様々な思いをわかりやすく伝えるために、啓発動画やスタンプ、アプリ、紙しばいを作成することになり、各学校が分担してシナリオやイラストを考えることになりました。



まず、皆でアンケート結果を見ました。



その結果から感じる問題点を洗い出し



解決策も考えて書きこみます。



班ごとに皆一言ずつ発表しました。



中学生が紙しばいを小学生にレクチャー



スタンプ班のミーティング

第3回 11月13日(日) 小中高校生が啓発ツールをそれぞれ作成

動画作成班は、羽衣学園チーム、摂津3中チーム、寝屋川チーム、野崎高チームに分かれて、ドラマ仕立てや注意喚起など4種類の動画を撮影しました。

アプリ作成班は、スマートフォンの使い過ぎ防止を目的に、(株)ディー・エヌ・エーの協力で設定内容を検討し、アプリで使うイラストやアイコンを作成しました。

スタンプ作成班は、相手に直接伝えにくい言葉を表現するためのスタンプを作成。

紙しばい作成班は、小学生にわかりやすくネット利用の注意点を伝えるために、アイデアを出した中学生と一緒に小学生も文言のチェックや色塗りを担当しました。



小学生も一緒に紙しばいを作っています。



動画撮影に使う小道具を作成



監督も撮影も自分達。まさに自作自演



配役を決めて、シナリオ確認



アプリで使うイラストを吟味



声を合わせて締めメッセージ



本日、スマホサミットメンバーが6月から半年間かけて取り組んだ成果を発表します!!

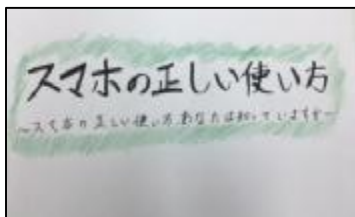
【啓発動画4編】

【スマホの長時間利用を防止するアプリ】



アプリ URL は、第二部事例コンクールの投票用紙に記載しています。
会場の皆さんも是非、お試しください。

【小学生低学年向けの紙芝居】



紙しばい表紙

【SNS用スタンプ】



スタンプ素案の一部

適切なネット利用対策実践事例コンクール

各学校において青少年の適切なネット利用対策を実践している事例を募集しました。入賞事例をご紹介しますので、是非、皆さんの学校や地域でも取り組んでみてください!!

| 学校名 | タイトル | 取組み内容 | 成果 |
|--------------|---|--|--|
| 羽衣学園高等学校 | 高校生が伝えるネットのスマートな使い方(出前授業) | ○羽衣学園高校ICTカンファレンスチーム約30名が、「ネットを使うときに伝えたいこと」5点を軸にソーシャルメディアガイドラインを作成 ○このガイドラインを活用して様々な地域(高石市、熊取市、四条畷市、泉大津市)の小中学校に出向いて出前授業を実施。また、保護者向けの講演会でも活動を報告 | 他地域の生徒との交流を通して、新たな「気づき」があり、ネット問題についてより深い思慮が得られた。 |
| 大阪市立 葦中学校 | 葦中メディア宣言 | ○H28城東区PTAフェスタでネット利用の危険と家庭でのルール作りを呼びかける。 ○城東区6中学校生徒会交流会でアンケート結果の報告とネットの危険性について意見交換 ○生徒会新聞を発行、ネット委員会によるアンケート作成、ネットトラブル啓発ポスター作成 ○葦中メディア宣言と啓発CM(動画)を文化祭で発表 | 全校生徒に呼びかけることにより、ネット問題に対する意識が高まってきているのを感じた。 |
| 摂津市立 第三中学校 | 摂津三中生徒会による校区スマホ・ネット利用の啓発活動 | ○生徒会がスマホアンケートを実施し、集計・分析を通じて問題点や対応策を議論し、啓発動画を5本作成。 ○文化鑑賞会でアンケート結果の報告と啓発動画を発表 ○動画を教材として、校区小学校6年生への出前授業や地域イベント「三中フェスタ」で発表 | 生徒会が自分達でアンケート集計・分析する事で、他人事ではなく自分事としてネット問題を捉えるなど自主的な姿勢が見られた。 |
| 大阪市立 九条南小学校 | 私達がコマーシャルDVD等で提案するスマホの有効な利用法 | ○発達段階に合わせ、児童向け講演会、保護者向け教育講座、スマホ利用のルールを決める学習参観を実施 ○スマホやゲームの利用アンケートを児童(保健委員会)が作成、実施 ○児童がアンケート結果を踏まえて議論⇒コマーシャル動画を作成するため台本と小道具づくり⇒配役を決めて撮影、発表 | 児童に身近な話題であり、意見交流が活発化。また、視覚に訴える教材を作成した事で、低学年にも無理なく働きかけることができた。 |
| 交野市立 中学校 生徒会 | 交野市四中学校交流会「ケータイ・スマホ・インターネットの利用と啓発について考える」 | 交野市内の全中学校(4校)で実施したアンケート結果を踏まえて、各校生徒会で今後考えられる課題に対して、生徒会交流会で意見交換のうえ、4つのグループに分かれて啓発用動画を作成。今後、各校で活用する。 | 生徒会執行部が主体となって取組を進める中で、生徒間の交流が深まり、その他の活動も活発になった。 |
| 大阪市立 堀江中学校 | 校区小学校への出前授業「SNSが将来に与える影響」 | ○外部講師を招いての情報モラル教室や全校生徒と小6へのアンケートを実施 ○生徒会が主体となってアンケート結果を分析し、問題点や対応策について議論 ○文化発表会で情報モラルに関する寸劇を発表 ○その映像で啓発動画を作成し、校区の小学校へ出前授業を実施 | 出前授業後の小学生の感想には「書き込みが消せないことを初めて知った」など、意識の向上が見られた。 |
| 高石市立 高石中学校 | ダラダラやり取りこれで終了! みんなで考えよう「高中スマホルール」 | ○「SNSのやり取り」と「生活への影響」に着目し、生徒会メンバーを中心にアンケートを2種類実施 ○文化活動発表会にて、アンケート結果からわかる高石中学校の実態を発表 ○SNSのやりとり終了の合図「じゃい」を「高中ルール」として全校生徒で決定し、本校のみならず、保護者や市内小中学校へも広めていく | 2種類のアンケートを実施したことで、より細かにスマホと生活の実態を把握でき、生徒会が臨場感のあるプレゼンができた。 |
| 府立野崎 高等学校 | スマホマナー啓発ムービー | ○スマホへの依存傾向やコミュニケーション能力不足からくる身近なトラブルについて、生徒会が主体的に考え、全校生徒に発信 ○スマホ安全利用啓発ポスターを作成⇒校内に展示 ○生徒会がアンケート結果を踏まえた議論をまとめ、啓発動画を自作自演で作成⇒動画を上映し、スマホの適切な利用について訴求 | 生徒目線で作成した動画が多く生徒から共感を得、スマホ利用に関する話題が多くなり、生徒が中心となって考えていく土台作りも校内で出来てきた。 |



優秀賞の5事例について、本日発表してもらいます。
その後、投票を行います。乞うご期待!!